

人と自然の巨大湖

霞ヶ浦から水圏フィールドドへ

全国からの
利用者募集中



東京から1時間半

水圏フィールドドへようこそ！

日本第2位の巨大湖「霞ヶ浦」の近くにある茨城大学水圏環境フィールドステーション (WEFS) では、霞ヶ浦をはじめとする湖沼、河川、海岸、農業、水産業、観光、地質、歴史、防災など地域の教育資源を活用したステーション施設の利用を募集しています。大学生のフィールド実習、卒論・修論・博論研究を含む学術研究、研修会や小・中・高校の教育活動にもご利用いただけます。水圏フィールドドでワクワクしたい方、お気軽にお問い合わせください。実習や研究で利用できる設備・機器、時期、申込み方法などについては、裏面やホームページをご覧ください。



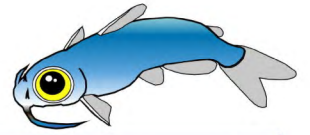
詳細については、裏面やホームページ (<http://www.cwes.ibaraki.ac.jp>) をご覧ください。



茨城大学 地球・地域環境共創機構 水圏環境フィールドステーション
Water Environmental Field Station (WEFS), GLEC, Ibaraki University
〒311-2402 茨城県潮来市大生1375
TEL: 0299-66-6886, FAX: 0299-67-5175, Eメール: suiken@ml.ibaraki.ac.jp

当ステーションは文部科学省により全国唯一の湖沼の教育関係共同利用拠点「湖沼環境・生態系と人の関わりを多角的に理解する水圏環境科学フィールド教育拠点」に認定されています(2023年3月31日まで)。

水圏フィールドへようこそ！



～茨城大学水圏環境フィールドステーション利用案内～

茨城県南東部の北浦の近くにあるフィールド実習施設です。現在、河川・湖沼、海岸、地質、農業、水産業、商業、歴史、防災など地域の教育資源を活用したフィールド実習でのステーション施設の利用を募集しています。卒論・修論・博論研究を含む学術研究、小・中・高校の教育活動、市民や企業の研修会にもご利用いただけます。水圏フィールドでワクワクしたい方、いつでもお気軽にお問い合わせください。

<実習での利用>

大学などが教育課程上の実習の開講を希望される場合には、最優先で対応させていただきます。当ステーションが提供できる実習メニューは、次のようなものです。

臨湖実習 調査船で水質・動植物の調査法を習得する。現在の霞ヶ浦を体感しながら、湖沼生態系の仕組みについて学ぶ。

湖岸環境の保全 北浦のヨシ帯で多種多様な生物を採集・同定し、それらの生態を学ぶ。湖岸開発が生物多様性に及ぼす影響についても考える。

外来種問題 河川・湖沼で様々な外来生物を採集し、それらが引き起こしている問題、対策の現状を学ぶ。

魚類学 各種漁具を用いた魚類の採集方法を習得する。解剖や食性調査を通じて各魚種の生態も理解する。

地質学 霞ヶ浦周辺の地形や地層を観察し、この地域がどのように環境を変えながら現在に至るかを学ぶ。

※上記以外にも、利用大学の目的にあわせて、オーダーメイド型の実習を構築します。はじめてご利用をお考えの場合は、事前にお気軽にお問い合わせください。

<研究や研修会などでの利用>

卒論・修論・博論作成を含む学術研究、学術集会、研修会などでの施設利用の申し込みについても、随時受け付けております。お気軽にご連絡ください。

■利用できる設備・機器

講義室 定員24名、液晶プロジェクター・スクリーン

実験室 電子天秤、遠心機、恒温器、分光光度計等の分析機器

小会議室 訪問教員室として利用可、ベッド設置可

調査船 船外機付きボート3(定員各10名、1船は夜間航行装備付)

調査・分析機器 水質計、バンドン採水器、エクマンバージ採泥器、プランクトンネット、稚魚ネット、魚群探知機などの湖沼調査機器、ハンディジオスライサーなどの地質調査機器、ゲルマニウム半導体検出器、レーザ回折式粒子分布測定装置などの分析機器

実習用器具 胴付き長靴、各種漁具・釣り具、バット、ピンセットなど

顕微鏡 実体顕微鏡24台、生物顕微鏡24台、顕微鏡用デジカメ

図書 図鑑120冊、参考図書500冊

宿泊棟 宿泊室2(12名用、8名用)、研修室2、トイレ・シャワーなど

キッチン ガスレンジ、電子レンジ、冷蔵庫、食器など完備

※日帰り利用は無料、宿泊棟使用料は1泊500円(共同利用申請者)～900円と格安です。他の設備・機器は無料で提供しています。

■申し込み方法

利用ご希望の方は、利用目的、人数(性別)、期間を明示して、事前に電話またはメールで当センター事務室にご連絡ください。利用開始予定日の2週間前までに、所定の使用申込書に必要事項を記入して正式に申し込んでいただきます。

茨城大学水圏環境フィールドステーション事務室

〒311-2402 茨城県潮来市大生1375

TEL: 0299(66)6886, FAX: 0299(67)5175

E-mail: suiken@ml.ibaraki.ac.jp

私たちがサポートします！～専任教員(潮来地区)～

中里亮治 副センター長・准教授(陸水生態学)

加納光樹 准教授(魚類学)

山口直文 助教(堆積学・地質学)

※常駐の事務職員と技術職員もサポートする体制です。

【交通案内】

・東関東自動車道「潮来IC」から自動車で15分

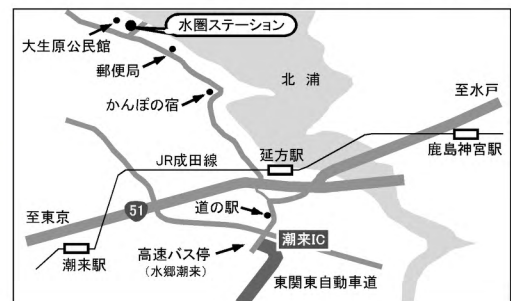
・高速バス停「水郷潮来」から路線バスで20分「大生原公民館前」

・JR延方駅からタクシーで10分、路線バスで10分

・JR鹿島大野駅から路線バスで22分

※東京方面からは東京駅八重洲口発の高速バス「鹿島神宮行」が便数が多く便利です(1日80本、1時間15分で「水郷潮来」着)

※路線バス「鹿行北浦ライン」は1日8便(時刻表はWEBでチェック)



本館(左上)、講義室(左中)、調査船(左下)、実験室(右上)、会議室&訪問教員室(右中)、宿泊棟(右下)